

全国健康福祉祭（ねんりんピック）について

全国健康福祉祭は、高齢者を中心とするスポーツや文化、健康と福祉の総合的な祭典
愛称は「ねんりんピック」

昭和63年の開始以来、毎年各県の持ち回りで開催

参加者は、都道府県及び政令市（67団体）から、60歳以上の選手や役員等約1万人

開催地は、都道府県のうちから厚生労働大臣が決定
令和8年度の埼玉大会に続き、令和10年度に東京で初めて開催

<役割分担>

区市町村：競技・文化団体と共に競技・イベント等を運営

都道府県：式典（開閉会式）、美術展、健康福祉機器展、音楽文化祭等の関連イベント
選手の宿泊輸送、医療等



鳥取大会 総合開会式

東京大会の基本構想（素案）について

大会目標や概要及び事業体系等について、外部有識者等の意見を踏まえ、「基本構想（素案）」を公表

○ 基本方針の主なキーワード：

「高齢者の未来像を示す」「東京の強みを活かす」「誰もがいつまでも輝ける成熟都市の実現」

○ 大会目標として5つの柱を設定

心身の健康	健康づくりやフレイル予防、趣味や余暇の充実、就労等に取り組むきっかけを得られる
つながりの創出	幅広い世代が交わることで新たなコミュニティが構築され、つながりを実感できる
先端技術の活用	QOLやウェルビーイングの向上につながる様々な技術に接し、その可能性を実感できる
東京の魅力発信	芸術文化や多摩・島しょの豊かな自然等、東京の魅力を発信し、誰もが楽しめる
レガシーの継承・発展	障害の有無や年齢、性別等を問わず、持続可能な社会の実現と東京の一層の発展につながる

○ 名 称：第39回全国健康福祉祭東京大会

○ 愛 称：ねんりんピックChōju東京2028

○ テーマ：全国公募でキャッチコピーを募集し、今後決定

○ 主 催：厚生労働省、東京都、一般財団法人長寿社会開発センター

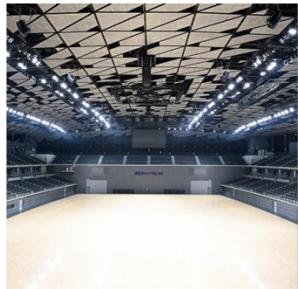
○ 共 催：スポーツ庁

○ 会 期：令和10年11月3日（金）～6日（月）

○ 参加予定人数：延べ70万人（観客含む）

○ マスコットキャラクター：東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

○総合開会式 京王アリーナTOKYO



○総合閉会式 東京国際フォーラム



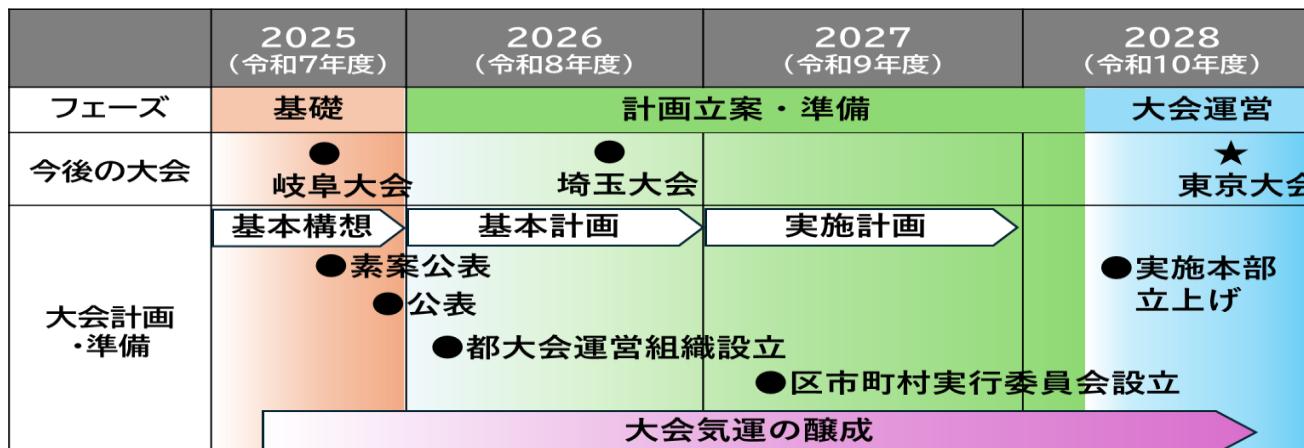
© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.

○美術展や音楽文化祭等の文化イベントも東京都が開催

○スポーツ交流大会（既定の10種目）、ふれあいスポーツ交流大会（誰もが親しみやすい種目を中心）、文化交流大会（将棋や健康マージャンなど）34種目を37自治体で実施
このほか、様々な協賛イベントを実施し、東京都全体で気運を醸成

今後の予定

令和10年度の開催に向け、関係者と連携して計画準備を進めるとともに、大会気運の醸成を図っていく



(参考) 交流大会の実施区市町村

スポーツ交流大会

種 目		会場地
1	卓球	墨田区
2	テニス	江東区
3	ソフトテニス	世田谷区
4	ソフトボール	八王子市 あきる野市
5	ゲートボール	大田区
6	ペタンク	瑞穂町
7	ゴルフ	青梅市
8	マラソン	福生市
9	弓道	(調整中)
10	剣道	新宿区

ふれあいスポーツ交流大会

種 目		会場地
1	グラウンド・ゴルフ	府中市
2	太極拳	目黒区
3	サッカー	文京区・北区 調布市・清瀬市
4	ソフトバレーボール	品川区
5	ウォークラリー	足立区
6	水泳	練馬区
7	なぎなた	港区
8	ダンススポーツ	立川市
9	インディアカ	葛飾区
10	バウンドテニス	小平市
11	サイクリング	大島町
12	スポーツウェルネス吹矢	多摩市
13	ビーチボール	台東区
14	パドルテニス	中野区
15	eスポーツ	西東京市
16	サーフィン	新島村
17	ウォーキング	板橋区
18	ローラースケート	江戸川区

文化交流大会

種 目		会場地
1	囲碁	千代田区
2	将棋	豊島区
3	俳句	荒川区
4	健康マージャン	渋谷区
5	カラオケ	中野区
6	絵手紙	狛江市

※太字の種目は東京大会で初めて開催

計

34種目

37自治体